

ジョン・海山・ネプチューン & 福原左和子

尺八と箏コンサート

～次世代へつなぐ～
in 下関

和を洋で楽しむ 洋を和で楽しむ



ジョン・海山・ネプチューン
尺八 shakuhachi



福原左和子 箏 koto

----- プログラム -----

春の海、秋の調べ / 宮城道雄 翔き / 沢井忠夫 平城山 / 平井康三郎

五足十三和十八番、あやとり、かもがわ / ジョン・海山・ネプチューン

TAKE FIVE / ポール・デズモンド 他 ※プログラムは当日変更の可能性があります

2025年 11月8日(土)

下関市民会館 中ホール

13:30開場 14:00開演

入場料 前売 2,000円 当日 2,500円

(小中学生、高校生無料)

主催: フェリーチエ [email: felice250317@ymail.ne.jp]

後援: 下関市、下関市教育委員会、(公財)下関市文化振興財団、下関市文化協会

COME ON! FM、下関邦楽協会、下関三曲連盟

チケット取扱い: 下関市民会館、下関市生涯学習プラザ ご予約・お問合せ: TEL/FAX 083-249-5826 (寺村)

～贊助出演～



五十嵐美紀子(下関在住)
ソプラノ soprano



- ? 邦楽(ががく):古代宫廷音楽。中国や朝鮮から伝わった要素もある
- ? 能樂・謡(よう):能の舞台で演奏される音楽。幽玄で静かな世界を表現
- ? 三味線音樂:義太夫節、長唄、津軽三味線など、三味線を中心とした演奏スタイル
- ? 箏曲(そうきょく):箏(こと)という弦楽器を使った優雅な音楽
- ? 尺八・和太鼓などの和楽器による演奏

「邦楽(ほうがく)」は元来、日本の音楽のうち、主に西洋音楽が日本に入ってくる前からあった日本独自の伝統や文化に根ざした音楽を指す言葉です。

この邦楽という言葉が近年では、「洋楽」に対して「邦楽」という分類でも使われ、「日本のアーティストによるポップスやロック、ヒップホップなどの音楽」=(日本の音楽全般)を指すことも多くなっているので、若い人たちには分かりにくい言葉かもしれません。しかしどちらの意味でも、日本の文化や感性が深く表れているのが邦楽の魅力といえます。

今回の演奏者ジョン海山ネプチューンと福原左和子の二人は、伝統的な邦楽だけでなく、現代音楽や海外の音楽とのコラボレーションにも積極的に取り組み邦楽の世界を広げている演奏家です。このソリスト二人はデュオとして国際的に活躍し、国内でもお東北復興を願う演奏会に参加するなど多くの公演活動を行っています。今回下関では初公演です！

この機会にぜひ「本物の音」を体験してみてください。



ジョン・海山・ネプチューン(尺八演奏家)

米国カリフォルニア州出身。高校時代はトランペット、その後ドラマーとして音楽活動を行っていた。ハワイ大学で民族音楽を専攻。来日し京都で尺八を三好荒山に師事。研鑽を経て尺八都山流師範免許と共に雅号「海山」を授与される。1979年、アルバム『バンブー・テクスチャーズ』でプロデビュー。翌年の第3作『バンブー』で文化庁芸術祭優秀賞を獲得。ジャズ・アルバムの受賞は前例を見ず、外国人アーティストとしても初となる。その後も、日本、中国、東南アジア、アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ各国での演奏活動を行う。伝統的なサウンドからコンテンポラリージャズにわたる独自の音楽は世界中で人々に愛されている。英文による尺八教則本も著述。作曲、演奏活動の傍ら、尺八の製作、改良を続けている。現在は千葉県鴨川市在住。



福原左和子(箏演奏家)

幼少より叔母である故・水島光代に手ほどきを受け、故・菊月秋栄、野田弥生、故・沢井忠夫、沢井一恵、故・中井猛、故・久木元尚子に師事。同志社大学経済学部卒業後、NHK 邦楽技能者育成会31期卒業。1984年オーストラリアでの国際青年音楽祭日本代表を皮切りに、国際的な演奏活動を始める。1988年デビューリサイタル開催。1990年中国各地にてコンサート開催。その後「国際交流基金」よりインド、モロッコ、アルジェリア等様々な国へ演奏派遣。2005年京都府文化賞奨励賞受賞、2006年文化庁芸術祭新人賞受賞。2007年「国際交流基金」よりブルガリアでソフィア・フィル・オーケストラと箏コンチェルトを世界初演。2013年より「日本青少年文化財団」の依頼により東北被災各地で公演。古典、現代邦楽だけでなくクラシック、インド音楽、ジャズなどとのセッションにも取り組む。CD、DVD、映画音楽等多数収録。京都市在住。